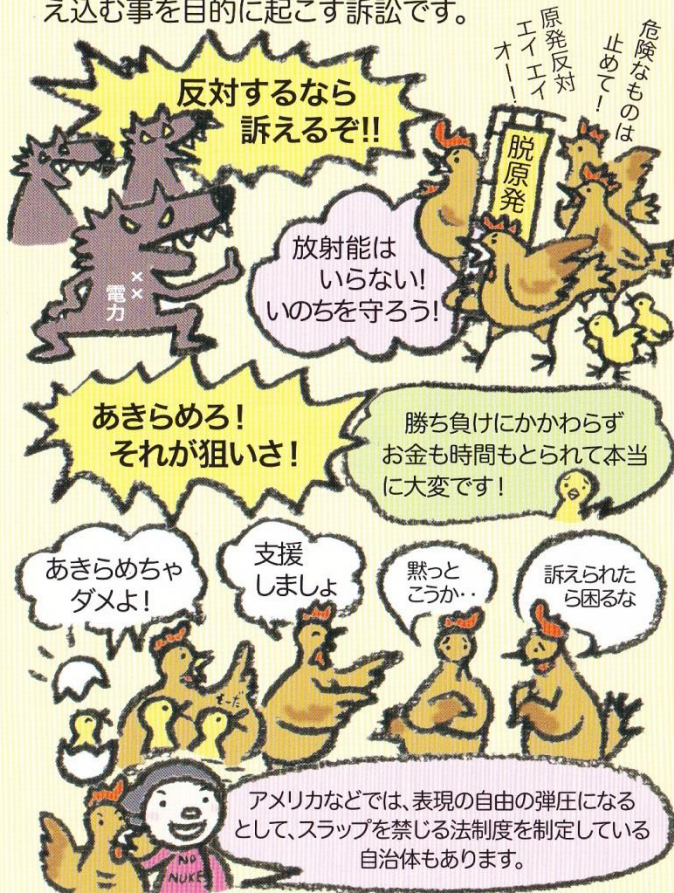


スラップ(SLAPP)訴訟とは？



経済力・権力のある大企業や政府が原告となり、それに反対する権力を持たない個人を被告として威圧・恫喝・報復的に訴え、発言や取り組みを押さえ込む事を目的に起こす訴訟です。



日本でもスラップ訴訟の問題性を考え、表現の自由を守るために闘うことが必要です。



訴訟には弁護士費用、裁判所への交通費など多大な費用がかかります。この訴訟に関わる費用へのカンパを募集しています。ご支援よろしくをお願いします。

振込先

上関原発を建てさせない祝島島民の会
(代表 清水敏保)

銀行振込み(ゆうちょ銀行)

加入者名: 祝島島民の会
店名: 一三九(イチサンキュウ)
当座: 0067782

郵便振替

加入者名: 祝島島民の会
口座番号: 01390-4-67782

※郵便振替の方は、裁判へのカンパとお書きください。
※領収書が**必要ない**方は、通信欄にご記入ください。

中国電カスラップ訴訟止めよう会 (ストップスラップの会)

連絡先/広島県三原市高坂町真良1015 TEL/0848-66-3592



よくわかる! と好評のブログ
こちらもぜひご覧ください!

祝島の暮らしと上関原発
~止めようSLAPP裁判~

<http://kaminoseki-genpatsu-slapp.jimdo.com/>

日本は自由にものが言える国でいいね~!



そうでもないんだよ!
たとえば中国電力は
原発に抗議していた市民を
裁判で訴えているんよ!



え~!? 訴える?
それってどういうこと?
何も言うなってこと??



知ってください

山口県上関原発に反対する市民に
中国電力が**4800万円**の損害賠償を訴える

中国電力いやがらせそしょう スラップ訴訟



山口県上関町で30年以上
続いている「原発反対」

上関原発反対の歴史と スラップ訴訟



上関原発（山口県）30年にわたる反対

1982年、中国電力による山口県上関原子力発電所建設計画が浮上。それに対して地元の祝島島民をはじめ全国各地からの、いのちや生活・ふるさとを守りたいという声により、30年以上計画は進みませんでした。

中国電力の強行作業とスラップ訴訟

ところが2009年10月、中国電力は住民の声を押さえ、埋め立て準備工事を強行。それに対して非暴力で抗議してきた個人に、中電作業員が暴行する事件も起きています。

そして、同年12月、中国電力は抗議していた人の中から祝島島民2人と一般市民2人を選んで、工事を不法妨害したとして約4800万円もの損害賠償を請求しました。

長引く裁判とデタラメな訴状

しかし、被告となった4人は、非暴力で抗議をしてきたにすぎません。訴えられたことで、時間的にも金銭的にも、精神的にも苦痛を強いられています。また、中国電力が請求している損害については曖昧な部分があり、さらに妨害行為の証拠として提出した資料にも事実とは異なるものが多く、裁判官からも正されています。

この訴訟は、原発建設に反対する声を押さえ、委縮させる為の、「スラップ訴訟」と言えます。福島原発事故以降、工事は中断し、上関原発の行方は未定のままですが、なおもこの裁判は続けられています。

訴えられている4人を支えよう

このスラップ訴訟は、訴えられた4人だけではなく、私たちの問題でもあります。表現の自由を守るためにも、この裁判での闘いを支えてください。

祝島で4年に1度行われる祭り「神舞」は千年以上の歴史をもつ



清水敏保

海上運送業
上関町議会議員 上関原発を建てさせない祝島島民の会 代表
山口県上関町 1955年生まれ

上関原発建設計画が持ち上がって以来30年にわたり一貫して反対してきた。美浜原発と敦賀原発への視察旅行で地元の方ともふれあい、地元が原発によって発展しないと実感。また度重なる不祥事を起こす電力会社を信用できなくなる。その後、上関町議会議員に立候補。現在に至る5期の議会の中で、上関原発について毎回質問・抗議し、あわせて国・県・中国電力にも抗議している。周辺自治体議会に上関原発反対を要請している。趣味はスポーツ、野球。



予定地には瀬戸内の生態系の頂点
スナメリも生息しています



原 康司

シーカヤックガイド
ダイドック冒険学校主宰
山口県周南市 1972年生まれ

アラスカやアマゾン川をシーカヤックで冒険中に、アラスカで出会った先住民に生まれ育った故郷の大切さを教わる。その後地元に戻り瀬戸内を縦断中に、美しい瀬戸内の原風景や生活文化を色濃く残す祝島に出会い、感銘を受け、シーカヤックで祝島の漁師さんたちの漁船とともに海上での原発反対行動をはじめ。主宰する冒険学校では子どもたちにアドベンチャー体験を行っている。趣味は百姓仕事。

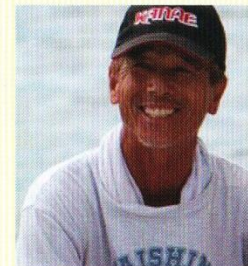


予定地は一本釣りの
貴重な漁場



橋本久男

漁業 大工
山口県上関町 1952年生まれ



福井県敦賀原子力発電所2号機で配管作業に従事。防護服を着ての作業を経験し、被曝者を生み出している危険性を痛切に感じ、原子力と共存はできないと考える。祝島では以前はタテ網漁やタコ壺漁、現在はイカス漁、素潜りなどの漁業を行い、祝島の他の漁師さんとともに、中国電力からの巨額な補償金を30年拒否し続けている。2009年からの中国電力による強硬な埋め立て工事に対し、24時間態勢で一日も欠かさず海上での阻止行動を続け、命をかけて建設予定地の田ノ浦の海を守ってきた。趣味はやっぱり素潜り。

ナガシマツボは世界で唯一、
予定地・田ノ浦にしか生息して
いない珍しい生物です



岡田和樹

有機農業 水辺教室講師
八木の干潟調査隊代表
広島県三原市 1986年生まれ



生まれ育った瀬戸内海に残された手つかずの干潟に、2005年、埋め立て計画が浮上、自分たちの世代に貴重な自然を受け継ぎたいと活動をはじめ、計画は取り下げられる。2009年からは同じ想いで、上関に関わり始め、現地でシーカヤックに乗って抗議行動を続ける。「上関原発を考える広島20代の会」を立ち上げて署名を集め、要望書を出したり、中国電力本社前で抗議のハンストを行う。また、瀬戸内の恵みを生かした有機農業をしながら、子どもたちに自然の大切さを知ってもらおうと、干潟や川での観察会も続けている。趣味は山菜採り。